

G7広島サミット交通総量抑制対策の結果

1 交通量の削減状況

検証期間	令和5年5月18日(木)～21日(日)の4日間 【サミット開催1日前+開催期間】 ※ 5月22日(月)【開催1日後】は、結果的に午前中の短時間しか交通規制が行われず、また、前日にはその予定を広報していたため、検証期間からは除外することとした。
検証結果	広島県内の高速道路 及び 広島市中心部の一般道路 において、 1年前の同週同曜日と比較して、 <div style="text-align: center;"> 53.8% 交通量 53.8% 削減を達成 </div>

2 渋滞の発生状況

- 令和5年5月18日(木)から21日(日)までの間に、国道2号(住吉町交差点周辺)や寺町通り・舟入通り(十日市交差点周辺)等において、サミット開催に伴う交通規制により発生したとみられる1km以上の渋滞が15件発生。
- 高速道路における渋滞の発生はなし。

3 交通規制の実施状況との関係

- 平和大通りや吉島通り等において、各国首脳等の通行が集中する時間帯には、通行止め規制が長時間化。
- 上記の渋滞は、それと同じ時間帯に、通行止め路線と交差する路線又はう回路線において発生しており、通行止め規制の長時間化の影響によるものと考えられる。



【18日(木)】
 17:00頃から20:00頃までの間、城南通り・相生通り・平和大通り・吉島通りにおいて通行止め規制を実施(一時的な解除を含む。) → 17:30頃、国道2号(住吉町交差点周辺)において最大2kmの渋滞が発生

【19日(金)】
 8:00頃から13:00頃までの間、平和大通り・吉島通りにおいて通行止め規制を実施(一時的な解除を含む。) → 11:00頃、寺町通り・舟入通り(十日市交差点周辺)において最大3kmの渋滞が発生

広島市中心部における各国首脳等の頻繁な移動により、交通規制が長時間化したことで、一部において渋滞の発生がみられたが、交通総量抑制が十分に図られたことにより、大規模な混乱や渋滞に起因する事故等の発生はなく、交通規制による影響を最小限に抑えることができたと考えられる。

【国道 54 号南行き（広島市中区西白島町）の様子】

（通常時の午前 8 時）



（期間中の午前 8 時）

